



# かがやけ！ビーミーっ子

令和3年3月15日発行

令和2年度 ゆりのき台小学校 学校評価アンケート結果報告

学校・家庭・地域が連携して育てる「やさしく・かしこく・たくましい」ビーミーっ子



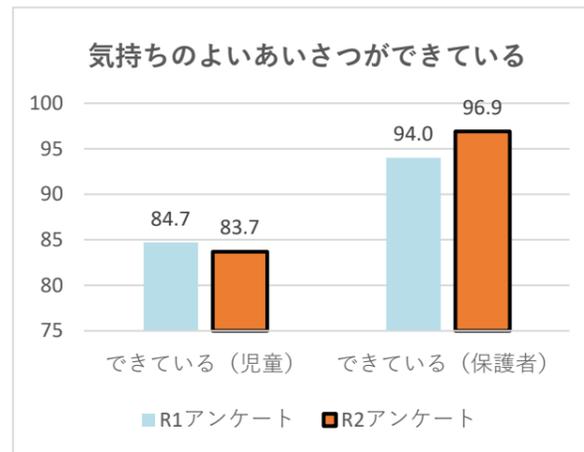
ゆりのき台小学校では、今年度も学校教育目標である「やさしく・かしこく・たくましく」の目標達成に向けて、学校全体で様々な取組を推進してまいりました。また、コロナ感染防止の徹底を図るため、様々な教育活動を制限しながらも、安全に学校運営を行えているのも保護者・地域の皆様の協力のおかげと感謝しております。さて、12月に学校評価アンケート(保護者・児童・教職員)を実施しました。その集計結果を学校地域運営協議会で報告し、様々なご意見をいただきました。アンケート結果や協議会で出されたご意見を参考にして、これからもよりよいビーミーっ子の育成に向けて取り組んでまいります。今後も保護者・地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 設問1. 「気持ちのよいあいさつができています」

「気持ちのよいあいさつができています」については、児童の83.7%、保護者の96.9%が肯定的な意見を述べられていました。しかし、児童が「気持ちのよいあいさつができています」と答えた割合は年々下がっており、今後もさらなる啓発が必要であると考えられます。学校でも、生活目標にあいさつを位置付け、学年や各クラスに応じた取組を行ってきました。プラン委員会の子どもが中心になって、朝のあいさつ運動も行われました。今後も学校、家庭、地域がひとつになって、引き続き気持ちのよいあいさつを行い、あいさつを通してみんながつながり合えることを大切にしていきます。



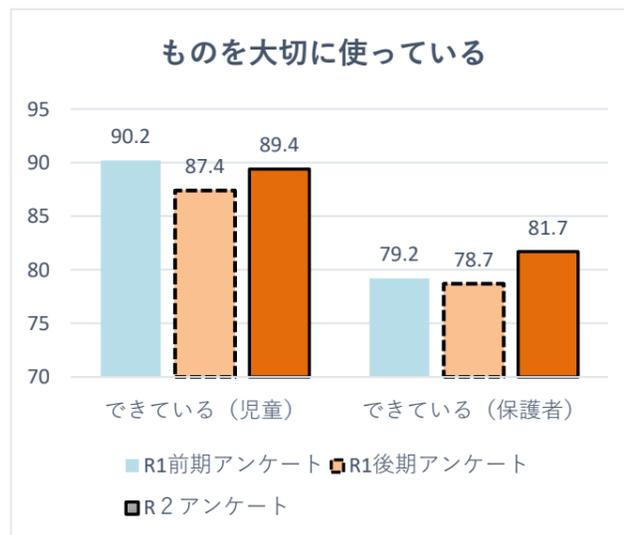
【プラン委員会によるあいさつ運動の様子】



## 設問4. 「ものを大切に使っている」

昨年度から少し心配しているのが「ものを大切に使っている」というアンケート結果です。右のグラフから分かるように、児童、保護者アンケート結果とも、今年度は若干改善傾向が見られます。しかし、学校での落とし物の量は減っているとは言えません。落とし物コーナーで現物を確認しても、自分のものかどうか分からない場合も多いようです。学校でも、自分の持ち物を大切に扱うように指導したり、忘れ物、落とし物がないよう声掛けをしたりしていきます。ご家庭におかれましても、お子様の持ち物には、必ず記名していただきますようよろしくお願いいたします。

また、「物を大切にできる」ことと「相手の気持ちを大切にできる」ことは、つながり合っているとよく言われます。設問3「相手の気持ちになって考える」項目においても、同じような結果がでています。物の向こう側に人の心を感じられるような、温かい心の育成を、今後もめざしていきます。

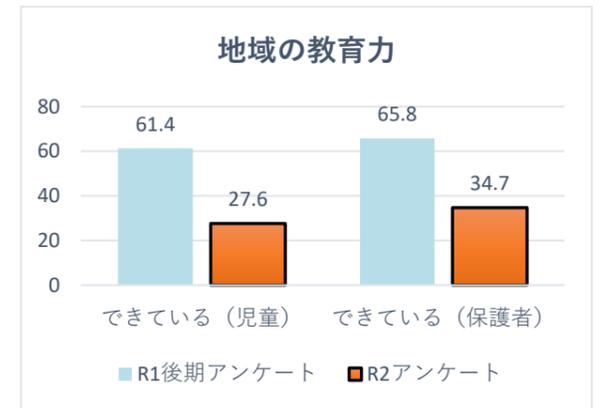


## 設問5. 「地域の活動に参加している」「子どもたちに対して、地域の活動に参加することの意義を声掛けし、一緒に参加したことがある」

今年度は、コロナ感染拡大防止のため、学校・地域における様々な行事が中止または内容変更となりました。子どもたちが地域行事に参加する場面も地域の方々が来校していただく機会もずいぶん制限されました。そのため、昨年度と数値を比較する必要はありませんが、今後もこのような状況が続くことが予測されます。これまでのような活動は難しいかもしれませんが、安全に十分配慮しながら地域でも活躍できる場、学習できる場が必要であると考えています。これからの社会は、学校・家庭・地域とのつながりがますます求められます。児童は、地域社会に出て行くことによって、学校の授業だけでは学ぶことができない多くのことを経験し、成長をしていきます。学校でも、児童が主体的に地域の活動に参加するよう声かけをし、授業等と関連づけた取組を進めていきたいと思ひます。



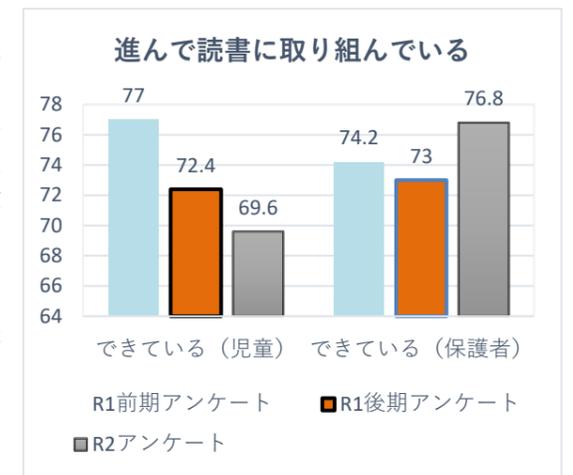
【「ゆりっこ広場」での活動の様子】



## 設問9. 「学校外でも進んで読書をしている」

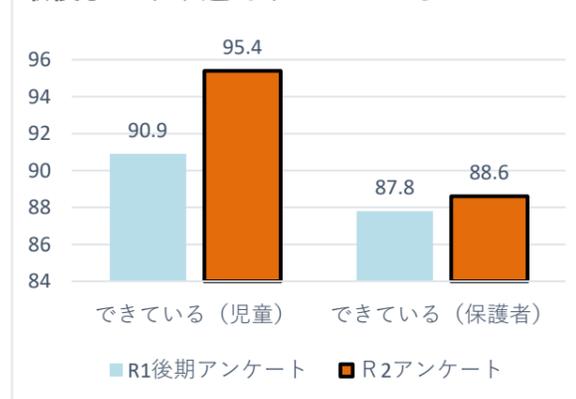
新学習指導要領では、「言語能力の育成を図るため、各学校に必要な言語環境を整え、読書活動を充実させることが重要である」と述べられています。本校においても、数年前から、「読書環境を整えることは、子どもたちの学びを土台から支えることである」と考え、学校と家庭の読書環境をいかに整え、読書の魅力をどのように子どもたちに伝えていくのが良いのかを検討してきました。

右の結果からもわかるように、学校外で読書に取り組む児童の数は、年々減少傾向にあります。学校では、学校司書の配置に伴い図書室の開館時間を増やしたり、図書ボランティアの皆さんに放送による読み聞かせをしていただいたりして、本を読むことの楽しさを伝えていきます。今回の結果を受け、学校でも朝読書や授業中の読書活動のさらなる充実をめざしていきたいと思ひます。ご家庭におかれましても、読書環境を整え、「家族読書の日」にテレビをやめて家族みんなで読書をするなど、ご協力をお願いします。



## 設問14. 「自分の仕事を最後までやり通そうとしている」

### 最後までやり通そうとしている



前期、後期のアンケート結果を比較すると、「自分の仕事をいつも最後までやり通そうとしている」の結果が保護者で2.5ポイント増加し、児童は共に高いポイントとなっています。

総合的な学習の時間や学校行事、委員会活動等を通して、自分の役割を自覚し、責任感を持って最後までやり遂げようとする気持ちが醸成されてきたのだと感じています。また、ご家庭におかれましても、多くの場面で「あきらめず、やり抜く」ようお声掛けをしていただいているからだと思います。これからの、様々な活動を通して、児童があきらめず、最後までやり抜くよう指導をしていきたいと思ひます。